

2021年12月22日

会社名 株式会社TOKAIホールディングス  
代表者名 代表取締役社長 鵜田 勝彦  
(コード番号：3167 東証第一部)  
問合せ先 代表取締役常務執行役員 中村 俊則  
(TEL：054-273-4804)

## TOKAIグループ「サステナビリティ宣言」について

当社は、本日、TOKAIグループ「サステナビリティ宣言」を策定しましたのでお知らせします。

当社グループは、「お客様の暮らしのために、地域とともに、地球とともに、成長・発展し続けます。」を企業理念に掲げ、お客様に「安心・安全」「便利・快適」「喜び・生きがい」を提供することを心掛けてまいりました。

今、社会は気候変動への対応、安全・安心な生活への関心の高まり、技術革新の一層の進展、少子高齢化による社会構造の変化、コロナ禍による生活様式の変化など、様々な課題に直面しております。当社グループは、これまでSDGs（持続可能な開発目標）、ESG（環境・社会・ガバナンス）に関し、積極的に取り組んでまいりましたが、ホールディングス化10周年にあたり、改めて当社グループのこれまでの活動を振り返りながら、これからの持続可能な社会の実現に向けて、当社グループが取り組むべき社会課題、解決が期待されていること等、検討を重ねてまいりました。

それらにより、この度TOKAIグループ「サステナビリティ宣言」を策定しました。今後は、この宣言に従い、事業活動を通じて社会課題の解決に努めていく所存です。

当社は以下6つのマテリアリティ（重要課題）を定めました。

- ① 脱炭素とクリーンエネルギー
- ② スマート社会の実現
- ③ 暮らしの基盤づくり
- ④ 地域共存と社会貢献
- ⑤ 働きがい、やりがいの高い職場環境
- ⑥ ガバナンス

なお、それぞれのマテリアリティには、取組課題と2030年までに達成すべき目標を設定しております。

また、目標達成に向けた取り組み状況を評価・検証すべく、取締役会の諮問機関として「サステナビリティ推進委員会」を新たに設置することについても合わせて、本日決議しました。

なお、TOKAIグループ「サステナビリティ宣言」の概要は次の通りです。

# TOKAI グループ「サステナビリティ宣言」の概要

## 1. サステナビリティ基本方針

～暮らしを支える「安心・安全」「便利・快適」「喜び・生きがい」を未来へ～

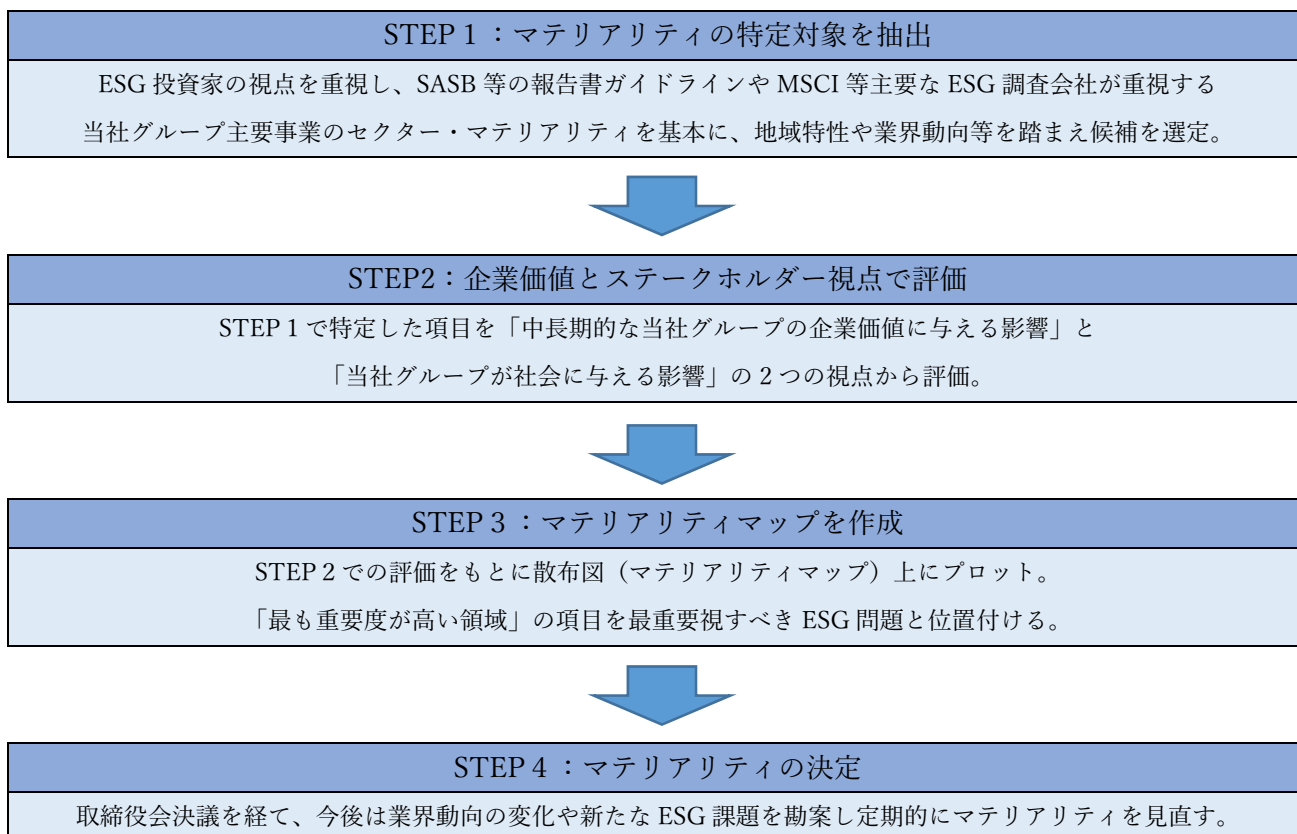
私たちは暮らしを総合的に支える企業体として、地球環境をはじめとする社会課題の解決に主体的に関わりながら、すべての人々が「安心・安全」「便利・快適」「喜び・生きがい」を実感でき、次世代が夢を持って成長できる社会の実現に貢献しつつ、自らの企業価値の向上を目指します。

## 2. TOKAI グループ マテリアリティ（重要課題）

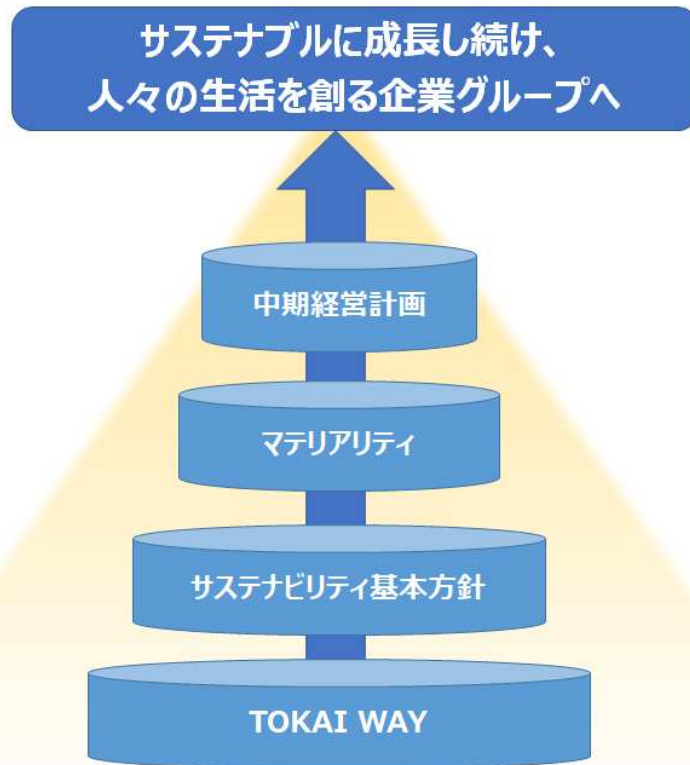
TOKAI グループがサステナビリティへの取り組みを推進する上で、6つ（下記①～⑥）のマテリアリティ（重要課題）を特定しました。

- |                    |                              |
|--------------------|------------------------------|
| ① 脱炭素とクリーンエネルギー    | ～2050年カーボンニュートラルの実現に向けた挑戦を！～ |
| ② スマート社会の実現        | ～DXと協創を通じて人々の生活をつくる！～        |
| ③ 暮らしの基盤づくり        | ～「安心・安全」「便利・快適」な暮らしを！～       |
| ④ 地域共存と社会貢献        | ～地域に「喜び」と「生きがい」を！～           |
| ⑤ 働きがい、やりがいの高い職場環境 | ～誰もが生き生きと働ける環境を！～            |
| ⑥ ガバナンス            | ～健全な企業経営を！～                  |

### ●マテリアリティ（重要課題）の特定プロセス



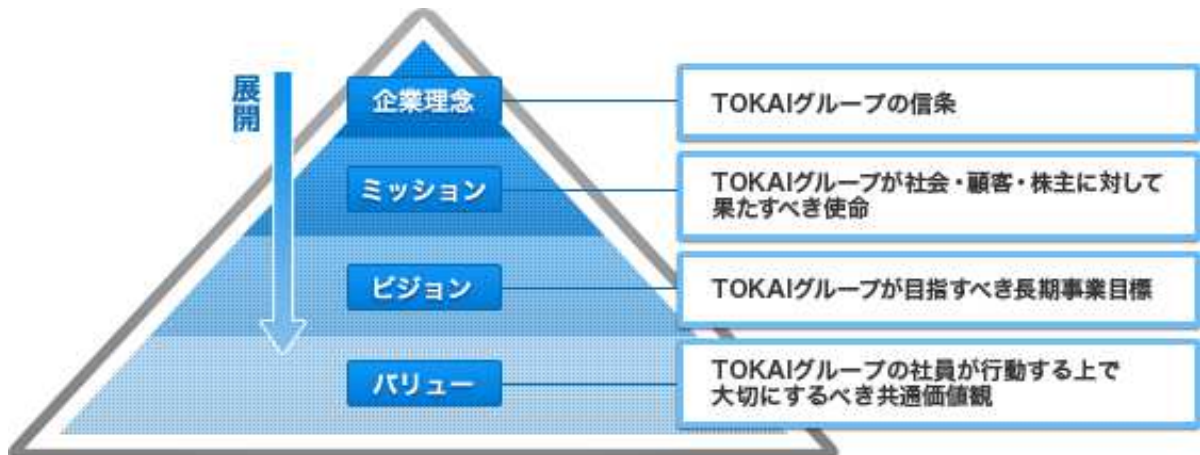
●サステナビリティ基本方針およびマテリアリティの位置づけ



TOKAI グループは、2011 年 4 月のホールディングス体制への移行と同時に、経営陣と社員が一体となって、グループの理念となる「TOKAIWAY」を策定しました。「企業理念」「ミッション」「ビジョン」「バリュー」4 層から形成され、グループ社員全員が共有し、実践に努めています。

この「TOKAIWAY」をベースに「サステナビリティ基本方針」を作成し、「マテリアリティ（重要課題）」を特定。「マテリアリティ（重要課題）」を中期経営計画（Innovation Plan 2024 “Design the Future Life”）に反映し、TOKAI グループは時代の求める方向性に応え、「サステナブルに成長し続け、人々の生活を創る企業グループ」を目指します。

●TOKAI WAY



<https://www.tokaiholdings.co.jp/corporate/philosophy.html>

### 3. 主な目標（非財務の指標）

この取り組みを進めるにあたり、主な目標を以下のとおり設定しました。

2030年までに

- 自らの事業活動から発生する CO2 排出量を 70%相当削減する（2020 年度比）
- ガスを利用するお客様の住宅の CO2 排出量を 50%相当削減する（2020 年度比）
- 紙使用量を 90%削減する（2020 年度比）
- 介護離職者 0 名を達成する
- 重篤な労働災害 0 件を維持する
- 女性管理職比率を 10%に向上する（2020 年度：1%）

### 4. サステナビリティ推進委員会の設置

取締役会の諮問機関の一つとしてサステナビリティ推進委員会を設置し、TOKAI グループ経営層によってマテリアリティに基づく取り組みの企画・立案・実施・評価・検証を行います。

当社グループは、今後もサステナビリティへの取り組みを推進し、地域の皆さまの快適な暮らしを支える事業者として、気候変動をはじめとする社会課題の解決に貢献してまいります。

以上

TOKAI グループ マテリアリティの詳細は、別紙をご覧ください。

マテリアリティ(重要課題)	取組課題	2030年までに達成すべき目標
<p><b>1 脱炭素とクリーンエネルギー</b> ～2050年カーボンニュートラルの実現に向けた挑戦を!～</p> 	<p><b>① CO<sub>2</sub>排出量削減</b></p> <p><b>② クリーンエネルギーの普及</b></p> <p><b>③ 資源の循環再利用促進</b></p>	<p>自らの事業活動から発生するCO<sub>2</sub>排出量を70%相当削減(2020年度比) ガスを利用するお客様の住宅のCO<sub>2</sub>排出量を50%相当削減(2020年度比) / カーボンニュートラルの達成(2050年)</p> <p>自らの事業活動に関わる使用電力を100%再生可能エネルギーに切替 / 住宅用太陽光設備を4万8千世帯に設置 メガソーラー増設による太陽光発電事業の拡大 / カーボンニュートラル都市ガスの拡販</p> <p>アクアサーバー、リターナブルボトルの再利用率100%維持</p>
<p><b>2 スマート社会の実現</b> ～DXと協創を通じて人々の生活をつくる!～</p> 	<p><b>④ デジタルワークプレイスの整備</b></p> <p><b>⑤ デジタルマーケティングの高度化</b></p> <p><b>⑥ オープンイノベーションの創出</b></p>	<p>ペーパーレス化の推進※紙使用量90%削減(2020年度比) テレワーク推進による出勤率50%・オフィス床面積40%削減</p> <p>D-sapiensによる顧客理解の追求および顧客体験の向上(顧客件数356万件、TLC会員数150万件※2024年)</p> <p>スタートアップ等との協業・協創による新たな価値提供 新領域への投資拡大 / 暮らしを支える新サービスの拡充</p>
<p><b>3 暮らしの基盤づくり</b> ～「安心・安全」「便利・快適」な暮らしを!～</p> 	<p><b>⑦ ガス・アクアの安定調達、安定供給</b></p> <p><b>⑧ 海外でのエネルギー需要への対応</b></p> <p><b>⑨ 情報通信網の最適化</b></p> <p><b>⑩ 住みつけられる住環境の提供</b></p> <p><b>⑪ プライバシーとデータセキュリティの保護</b></p>	<p>ガス仕入れ先の分散化 / 都市ガス導管の100%耐震化 水源およびアクア製造施設の分散化 / 災害対策・BCP対策の維持・強化</p> <p>ベトナムを始めとする東南アジアへの展開</p> <p>光ファイバー幹線の拡張 CATVネットワークの光化推進(2020年度:90%)</p> <p>OTSハウスの普及拡大 / 自然エネルギー+自立分散型エネルギーでくらすスマートコミュニティビレッジの形成 耐震・介護リフォームの拡大</p> <p>ISO27001規格認証の維持 個別事業に影響を与える情報関連事故(レベル3)0件の継続</p>
<p><b>4 地域共存と社会貢献</b> ～地域に「喜び」と「生きがい」を!～</p> 	<p><b>⑫ 地域社会との対話と発展への貢献</b></p> <p><b>⑬ 社会貢献活動</b></p>	<p>行政連携事業をのべ150自治体まで拡大し地域社会に貢献(2020年度:17案件のべ95自治体)</p> <p>地域団体との連携による福祉および美化活動の推進 / 教育・文化・芸術等への貢献 一般財団法人TOKAIグループ富士山育英財団による奨学金制度の充実</p>
<p><b>5 働きがい、やりがいの高い職場環境</b> ～誰もが活き活きと働ける環境を!～</p> 	<p><b>⑭ 働きやすい職場づくり</b></p> <p><b>⑮ ダイバーシティ&amp;インクルージョンと機会均等</b></p> <p><b>⑯ 人材育成</b></p>	<p>介護離職者0名 / 重篤な労働災害0件 / 労働環境の変化への対応強化(フレックス・リモート・時短勤務等) 健康経営の推進強化</p> <p>女性管理職比率10%(2020年度:1%) / 女性社員の積極登用 外国籍社員の積極採用</p> <p>階層別人材育成研修およびE-ラーニングの充実 資格手当等の拡充</p>
<p><b>6 ガバナンス</b> ～健全な企業経営を!～</p> 	<p><b>⑰ コーポレートガバナンス/ グループガバナンス強化</b></p> <p><b>⑱ コンプライアンス遵守/リスクマネジメント/ 腐敗防止等</b></p> <p><b>⑲ 人権、環境保護などに基づいた 倫理的な調達の実施</b></p>	<p>各種諮問委員会の随時設置 / 社外取締役を取締役の3分の1以上選任 取締役の多様性</p> <p>グループコンプライアンス・リスク管理委員会による経営陣への定期的研修の実施</p> <p>2022年度中の人権方針、CSR調達方針等の作成及び遵守</p>